

報道関係者 各位

2015年1月30日

メディカル・ツーリズム、ロングステイ 人気の体験型ツーリズムの実態に迫る

**公開講演会「いやし旅のウラ？表？—現代アジアツーリズム考」****2015年3月20日（金）開催！ 国立民族学博物館**

国立民族学博物館（大阪府吹田市千里万博公園 10-1）では、公開講演会「いやし旅のウラ？表？—現代アジアツーリズム考」を2015年3月20日（金）に開催する運びとなりました。

本講演では、特に「ケア」や「癒やし」を目的としたツーリズムに焦点をあて、その現状の一端を講演者の現地での研究に基づいてお話しします。新しいツーリズムの人気の原因や現地社会への影響、またこのような現象は日本社会の現状をどのように反映しているのか、今後どのようなツーリズムが旅客と現地社会とのより深い関係を築く上で望ましいのか、といった点について理解を深めます。

**【講演概要】**

○本講演のポイント！

**■ツーリズムの新トレンド“癒やし旅”の実態とは**

健康増進や病気治療を目的とする旅をメディカル・ツーリズムといいます。近年、インドでは、アーユルヴェーダやヨガのような伝統医療から、代理出産のような先端医療まで、多様なメディカル・ツーリズムが見られるようになってきました。人びとはメディカル・ツーリズムに何を求めてインドに向かうのでしょうか。メディカル・ツーリズム現代社会をどのように変えていくのでしょうか。新たな産業として期待されるメディカル・ツーリズムについて考えます。

**■シニア世代に人気の滞在国 マレーシアから探る ロングステイの表と裏・・・**

近年「ロングステイ」という新たな国際観光のトレンドが、日本人の老後のライフスタイルとして注目を集めています。ロングステイは、暮らすように旅する、あるいは旅するように暮らす海外長期滞在型余暇をさす言葉です。なかでも人気滞在国であるマレーシアでは、日本人高齢者が定住する傾向がみられます。なぜマレーシアが日本人高齢者に人気なのでしょう。日本人高齢者の長期滞在の実態と受け入れ国マレーシアの変容について検討します。

【お問い合わせ】 国立民族学博物館 広報企画室 広報係  
電話：06-6878-8560（直通） Fax：06-6875-0401 Mail：koho@idc.minpaku.ac.jp  
プレス向けウェブサイト [www.minpaku.ac.jp/press](http://www.minpaku.ac.jp/press)

## 【開催概要】

|              |   |
|--------------|---|
| 講演名          | 公開講演会「いやし旅のウラ？表？—現代アジアツーリズム考」   |
| 日時           | 2015年3月20日(金)18:30~20:45  |
| 会場           | オーバルホール（大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞社ビルB1）   |
| 講演1          | 「インドのメディカル・ツーリズム—癒やしから先端医療まで」<br>松尾瑞穂（国立民族学博物館 先端人類科学研究部 准教授）   |
| 講演2          | 「老後の海外長期滞在ツーリズム—マレーシアの日本人高齢者」<br>小野真由美（岡山大学 グローバル・パートナーズ 講師）  |
| パネル・ディスカッション | 司会：三尾稔（国立民族学博物館 研究戦略センター 准教授）<br>コメンテーター：信田敏宏（国立民族学博物館 文化資源研究センター 教授）   |
| 申込／参加費       | 要事前申込（先着順）／無料（参加証が必要）   |
| 申込方法         | 「3月20日講演会参加希望」と明記の上、ハガキ、FAX又はメールにてお申し込みください。お申し込みの際は、次の①～⑤を記載してください。<br>①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④連絡先電話番号 ⑤今後の講演会などのご案内送付希望の有無（次のア～ウのうち希望する記号→ア．講演会を含むみんぱく主催の研究会・催物等の案内を希望する／イ．講演会のみ案内を希望する／ウ．いずれの案内も希望しない） 2月下旬より順次参加証を発送する予定です。<br>*応募者多数の場合は、ご参加いただけない場合もございます。<br>*2名様以上でお申し込みの場合は、それぞれの方について①～⑤をご記載ください。<br>*手話通訳をご希望される方、車椅子をご利用される方は、お席をご用意いたしますのでお申し込みの際に必ずご記載ください。<br>*参加申込をいただいた方の個人情報は、参加証の発送、次回以降の講演会などのご案内以外には使用いたしません。 |
| 宛先           | 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1<br>国立民族学博物館 研究協力課研究協力係<br>FAX 06-6878-8479<br>メールアドレス <a href="mailto:koenkai@idc.minpaku.ac.jp">koenkai@idc.minpaku.ac.jp</a>   |
| 主催           | 国立民族学博物館・毎日新聞社  |

## 【プログラム】

- 17:30-18:30 受付
- 18:30-18:35 開会 小菅洋人（毎日新聞大阪本社 編集局長）
- 18:35-18:40 挨拶 須藤健一（国立民族学博物館 館長）
- 18:40-19:15 講演1 「インドのメディカル・ツーリズム—癒やしから先端医療まで」  
松尾瑞穂（国立民族学博物館 先端人類科学研究部 准教授）
- 19:15-19:50 講演2 「老後の海外長期滞在ツーリズム—マレーシアの日本人高齢者」  
小野真由美（岡山大学 グローバルパートナーズ 講師）
- 19:50-20:10 休憩
- 20:10-20:45 パネル・ディスカッション  
コメンテーター：信田敏宏（国立民族学博物館 文化資源研究センター 教授）  
司会：三尾稔（国立民族学博物館 研究戦略センター 准教授）

**【本館の学術公開講演会とは】**

先端的な研究活動を取りあげ、その成果を社会に積極的に還元するとともに、文化人類学・民族学を通じての異文化理解と、広く本館が学術研究機関であることの認識を一般市民に深めてもらうことを目的として、東京と大阪において実施しています。

今年度は、平成26年11月4日（火）に日経ホール（東京）にて「無形文化遺産 選ぶ視点 選ばれた現実」を実施しました。

**【登壇者紹介】**

**松尾瑞穂（国立民族学博物館 先端人類科学研究部 准教授）**

専門は文化人類学、南アジア研究。西インド社会におけるジェンダーと生殖実践の変容や、生殖リズムに関する調査研究を行っている。

**小野真由美（岡山大学 グローバル・パートナーズ 専任講師）**

専門は文化人類学。マレーシアとタイを主たる調査地とし、国際退職移住・海外ロングステイ、ライフスタイル移住、医療・介護の越境化に関する研究に従事している。

**信田敏宏（国立民族学博物館 文化資源研究センター 教授）**

専門は社会人類学、東南アジア研究。開発、イスラーム化、エスニシティなどをテーマに、マレーシア先住民オラン・アスリを対象とした調査研究に従事している。

**三尾稔（国立民族学博物館 研究戦略センター 准教授）**

専門は文化人類学・南アジア研究。インドのラージャスターン地方を中心に、宗教信仰と社会の変化、また宗教信仰とナショナリズムの関係などについて研究を行っている。